

2006年度

# 第3四半期決算説明会

常務取締役 執行役員経営管理第1本部長  
平井 茂雄

<http://www.eneos.co.jp>

2007年2月2日



**新日本石油**  
Your Choice of Energy

# 06年度第3四半期(06/4-12月)決算のポイント

経常利益は、1,553億円と前年同期比△736億円減益

〔在庫影響除き経常利益は、1,437億円と前年同期比+504億円増益〕

- ◆ 在庫影響のプラスが大幅に減少したことから石油精製・販売部門は減益。在庫影響除きでは、石油製品の販売数量減を石化マーゲンのアップ等によりカバーし、若干の増益
- ◆ 原油価格の上昇等により石油・天然ガス開発部門が増益
- ◆ 受取配当金の増加等により営業外損益が良化

# 06年度第3四半期 (06/4-12月) 損益概要

	05年度 第3四半期 (05/4-12月)	06年度 第3四半期 (06/4-12月)		第3四半期 増減
			うち06/10-12月	
原油価格 (\$ / Bbl)	52.7	63.5	58.3	+ 10.8
為替レート (円 / \$)	111.0	116.1	117.5	+ 5.1
ポイント等除き 販売数量 (万 KL)	5,294	5,016	1,718	△ 278
	兆 億円	兆 億円	兆 億円	億円
売上高	43,104	48,812	16,829	+ 5,708
営業利益 (在庫影響)	2,305	1,301	153	△ 1,004
(在庫影響除き)	(1,356)	(116)	(△ 503)	△ 1,240
	(949)	(1,185)	(656)	+ 236
営業外損益	△ 16	252	80	+ 268
経常利益 (在庫影響除き)	2,289	1,553	233	△ 736
	(933)	(1,437)	(736)	+ 504
特別損益	△ 31	△ 9	△ 2	+ 22
当期純利益	1,213	716	75	△ 497

# 06年度第3四半期セグメント別営業利益の増減 <前年同期比 >

05年度第3四半期  
 (05/4-12月)  
 前期比△1,004億円  
 [(在庫影響除き +236億円)]

06年度第3四半期  
 (06/4-12月)  
 (2,305億円 → 1,301億円)

	営業利益		06年度第3四半期 経常利益(参考)
	05年度第3四半期 (05/4-12月)	06年度第3四半期 (06/4-12月)	
I. 石油精製・販売 (在庫影響除き)	△1,224 億円	(1,564 億円 → 340 億円)	488 億円
うち石油化学製品	+16 億円	( 208 億円 → 224 億円)	372 億円
うち石油化学製品	+151 億円	( 292 億円 → 443 億円)	443 億円
II. 石油・天然ガス開発	+231 億円	( 659 億円 → 890 億円)	996 億円
III. 建設・その他	△11 億円	( 82 億円 → 71 億円)	69 億円

# 石油精製・販売部門 営業利益増減分析

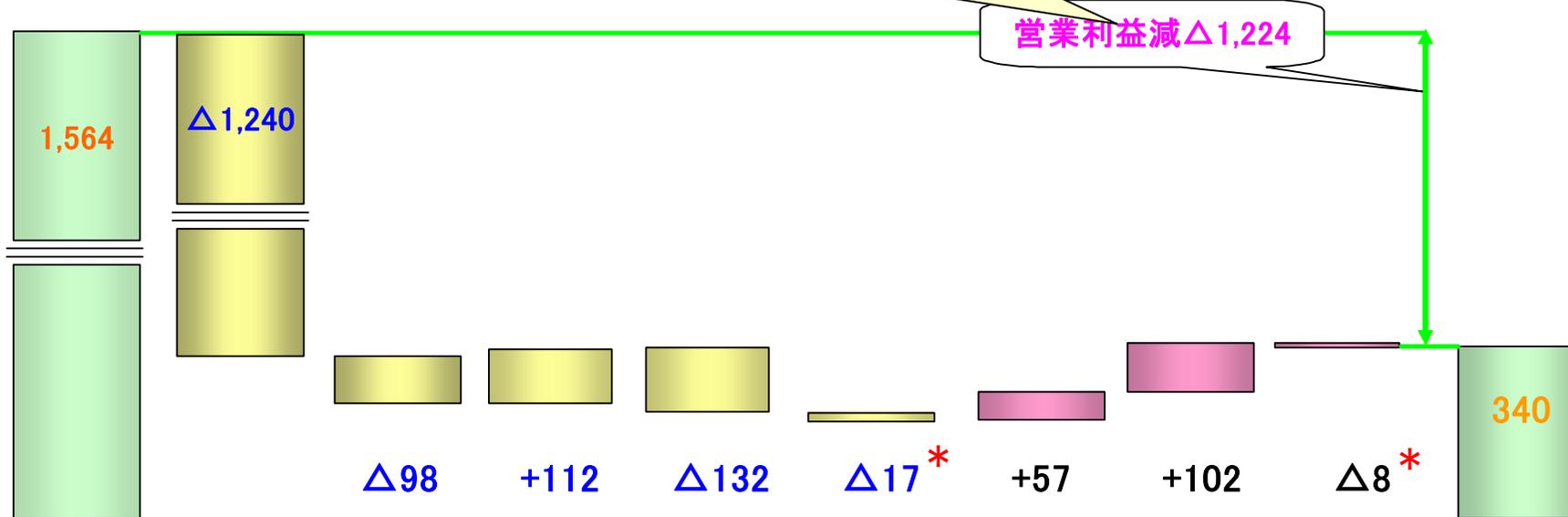
営業利益減(△1,224億円)のポイント

- ・在庫影響のプラスが大幅に減少
- ・ほぼ全油種にわたり、石油製品の販売数量が減少
- ・パラキシレン、プロピレンを中心に石化マージンは良化

\* コスト削減・効率化  
(経費増)計 △14

- ・石油製品 △17
- ・石油化学製品 △8
- ・建設・その他 +11

(単位:億円)



石油製品 Δ1,375

石油化学製品 +151

05年度  
第3四半期  
実績  
営業利益

在庫影響  
増減

数量

石油マージン

タイムラグ

自家使用燃料  
代の悪化等

コスト削減・  
効率化

数量

石化  
マージン

コスト削減・  
効率化

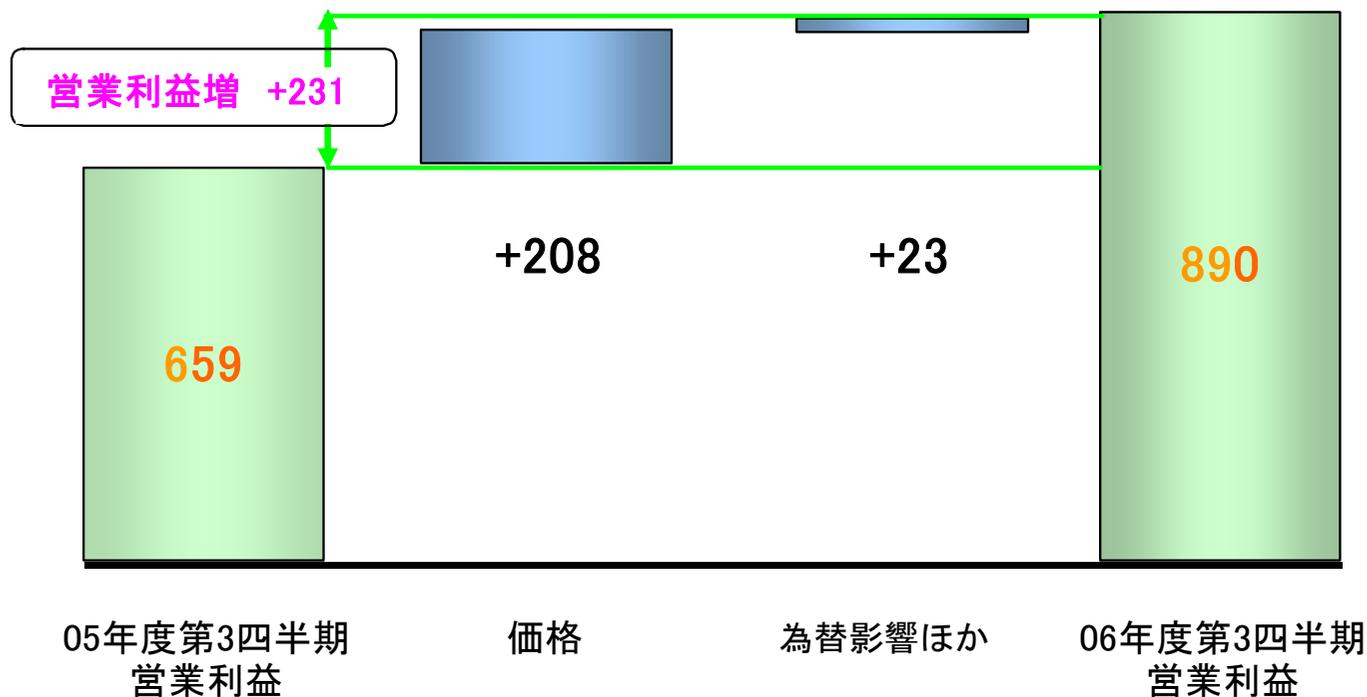
06年度  
第3四半期  
実績  
営業利益

# 石油・天然ガス開発部門 営業利益増減分析

営業利益増減(+231億円)のポイント

・原油価格の上昇により販売価格が上昇

(単位:億円)



# 06年度決算見通し(10月公表比)のポイント

経常利益は、1,850億円と前回見通し(10月公表)比+10億円増益  
〔在庫影響除き経常利益では1,900億円と前回見通し比+100億円増益〕

## ◆ 原油価格および為替レート的前提はほぼ前回並み

	06年度平均(今回)		06年度平均(前回06/10)
	\$/Bbl		
・WTI	66.3	←	66.2
・処理原油代(07/2積以降Dubai55\$)	61.4	←	61.1
	円/\$		
・為替レート(07/2以降120円/\$)	116.9	←	117.5

- ◆ 在庫影響がマイナスに転じることや、中間3品を中心に石油製品の販売数量が減少すること等により、石油精製・販売部門が減益
- ◆ 販売数量の増加や経費減により石油・天然ガス開発部門が増益
- ◆ コスト削減・効率化は、前回比△40〔△20(前回) → △60(今回)〕

# 06年度損益概要(年度 見通し)

	05年度実績	増 減	06年度見通し	増 減	06年度見通し (10月発表)
原油価格(\$/Bbl)	54.0	+7.4	61.4	+0.3	61.1
為替レート(円/\$)	112.7	+4.2	116.9	△0.6	117.5
シヨイント等除き 販売数量(万KL)	7,285	△505	6,780	△90	6,870
売上高	兆 億円 61,180	億円 +5,220	兆 億円 66,400	億円 △900	兆 億円 67,300
営業利益 (在庫影響除き)	3,039 (1,664)	△1,439 (△1,714)	1,600 (△50)	±0 (△90)	1,600 (40)
営業外損益	52	+198	250	+10	240
経常利益 (在庫影響除き)	3,091 (1,427)	△1,241 (+473)	1,850 (1,900)	+10 (+100)	1,840 (1,800)
特別損益	△108	+8	△100	±0	△100
当期純利益	1,665	△885	780	+10	770
連結ROE	% 16.0	% △9.4	% 6.6	% ±0	% 6.6

(07/1-3)  
55.6

(07/1-3)  
119.3

# 06年度セグメント別営業利益の増減 <前回(10月)見通し比 >

**前回比±0億円**  
〔在庫影響除き +90億円〕

06年度(前回)      06年度(今回)  
(1,600 → 1,600)

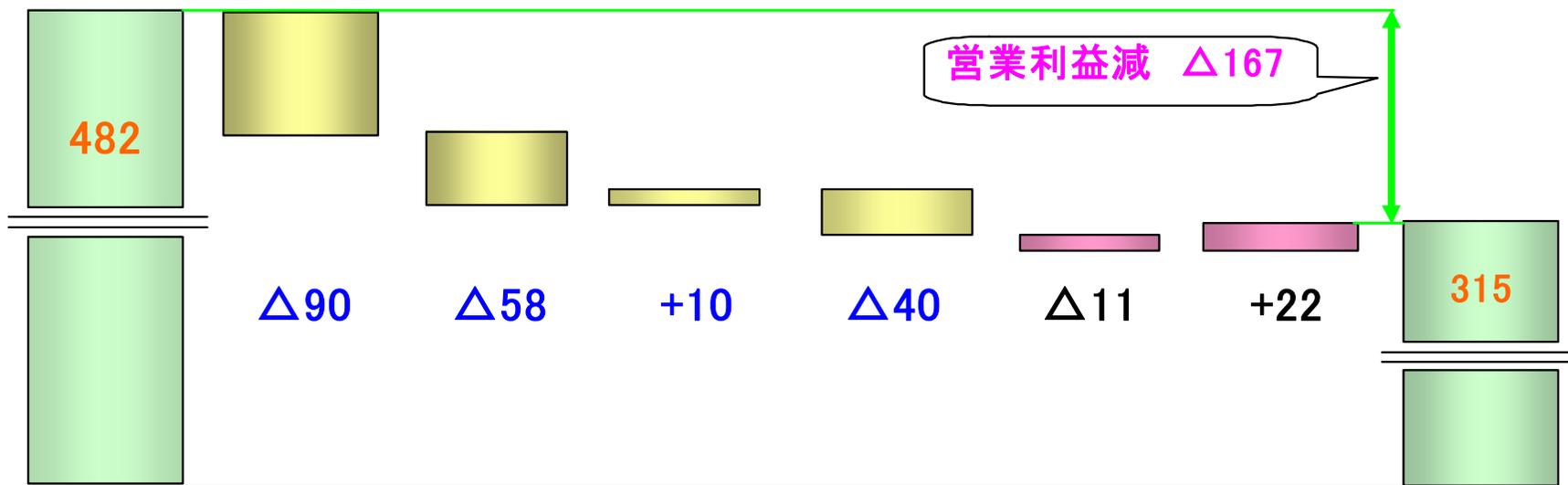
	営業利益		06年度経常利益(参考)
I. 石油精製・販売	△167億円	(482億円 → 315億円)	459億円
(在庫影響除き)	△77億円	(442億円 → 365億円)	509億円
うち石油化学製品	+11億円	(628億円 → 639億円)	636億円
II. 石油・天然ガス開発	+168億円	(979億円 → 1,147億円)	1,256億円
III. 建設・その他	△1億円	(139億円 → 138億円)	135億円

# 石油精製・販売部門 営業利益増減分析

営業利益増減(△167億円)のポイント

- ・在庫影響がプラスからマイナスへ
- ・中間3品を中心に石油製品の販売数量が減少
- ・安全対策強化等により経費(製油所補修費ほか)が増加

(単位:億円)



石油製品  
Δ178

石油化学製品  
+11

06年度  
見通し  
(前回)

営業利益

在庫影響  
増減

数量

石油マージ  
ンほか

コスト削減・  
効率化

数量

石化マージ  
ンほか

06年度  
見通し  
(今回)

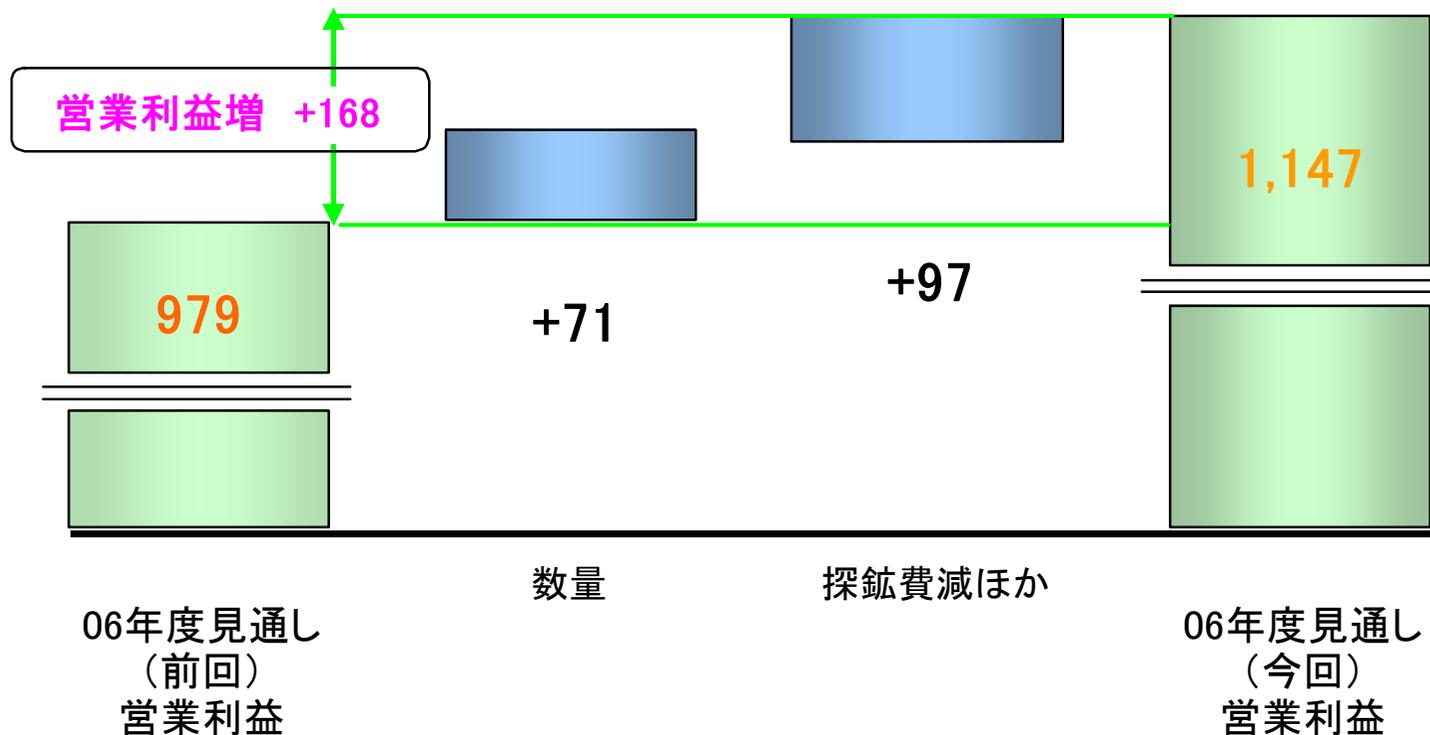
営業利益

# 石油・天然ガス開発部門 営業利益増減分析

営業利益増減(+168億円)のポイント

- ・販売数量が増加
- ・探鉱費の期ズレ等により経費が減少

(単位:億円)



## ＜見通しに関する注意事項＞

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

# 2006年度第3四半期決算

## 参考データ集

2007年2月2日

# <目次>

## 1. 参考データ①

セグメント別売上高・営業利益(第1～3四半期).....	P3
セグメント別売上高・営業利益(第3四半期).....	P4
セグメント別売上高・営業利益(年度見通し).....	P5

## 2. 参考データ②

油種別販売数量(単体) .....	P6
-------------------	----

## 3. 参考データ③

スプレッド(ガソリン末端価格－原油CIF)の推移.....	P7
スプレッド(パラキシレン価格－ドバイ原油価格)の推移.....	P8
スプレッド(ベンゼン価格－ドバイ原油価格)の推移.....	P9
スプレッド(プロピレン価格－ドバイ原油価格)の推移.....	P10

## 4. 参考データ④

SS数(固定式)、セルフSS数、Dr.Drive数 .....	P11
---------------------------------	-----

## 5. 参考データ⑤

トッパー稼働率、油槽所数、石油・天然ガス開発生産数量(日量).....	P12
-------------------------------------	-----

# 参考データ①

## <セグメント別売上高・営業利益(第1～3四半期) 前年同期比>

### (1) 売上高

(単位：億円)

合 計						48,812(+5,708)
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開 発 部 門	建 設 部 門	そ の 他	
石油製品	石油化学製品					
40,994(+5,135)	3,490(+436)	44,484(+5,571)	1,527(+226)	2,351(+54)	450(△143)	

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

### (2) 営業利益

(単位：億円)

合 計						1,301 (△1,004)
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開 発 部 門	建 設 部 門	そ の 他	
石油製品	石油化学製品					
△103(△1,375)	443(+151)	340(△1,224)	890(+231)	21(+5)	50(△16)	

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

# 参考データ①

## <セグメント別売上高・営業利益(第3四半期) 前年同期比>

### (1) 売上高

(単位：億円)

合 計						16,829(+735)
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開 発 部 門	建 設 部 門	そ の 他	
石油製品	石油化学製品					
14,034(+714)	1,190(+88)	15,224(+802)	561(+21)	903(+11)	141(△99)	

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

### (2) 営業利益

(単位：億円)

合 計						153 (△697)
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開 発 部 門	建 設 部 門	そ の 他	
石油製品	石油化学製品					
△393(△794)	157(+55)	△236(△739)	340(+39)	27(+7)	22(△4)	

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

# 参考データ①

## <セグメント別売上高・営業利益(年度見通し) 前回比>

### (1) 売上高

(単位：億円)

合 計						66,400(△900)					
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開発部門			建設部門		その他			
石油製品		石油化学製品									
55,300(△1,100)		4,600(±0)	59,900(△1,100)		2,000(+100)	3,900(+100)				600(±0)	

※カッコ内は前回比増減を示す。

### (2) 営業利益

(単位：億円)

合 計						1,600 (±0)					
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開発部門			建設部門		その他			
石油製品		石油化学製品									
△324(△178)		639(+11)	315(△167)		1,147(+168)	81(△5)				57(+4)	

※カッコ内は前回比増減を示す。

# 参考データ②

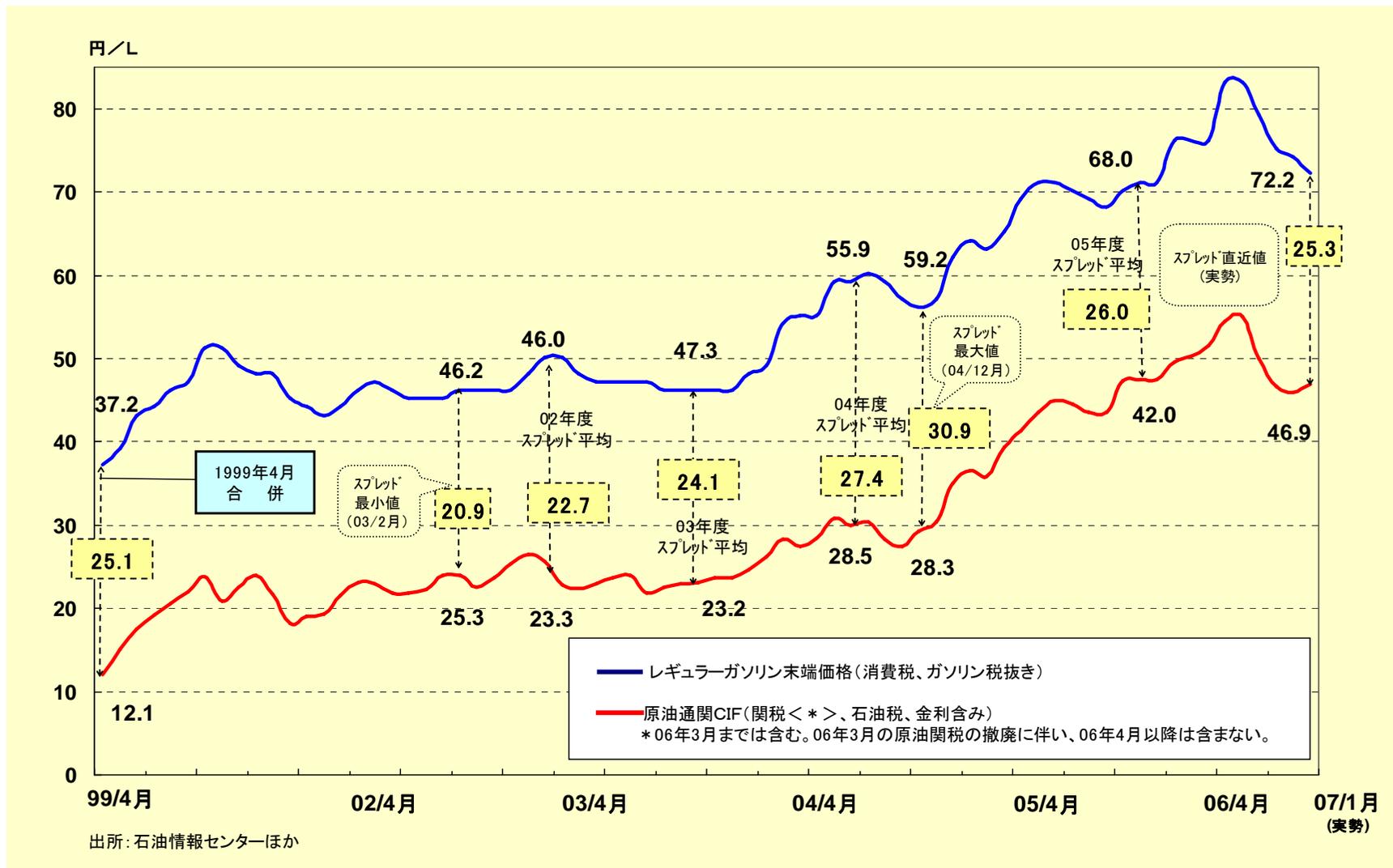
## 油種別販売数量(単体)

油種	第1～3四半期 (06/4-12月)		前年同期比 (05/4-12月)
	万KL	うち第3四半期 万KL	%
揮発油	1,082	348	▲2.3
(ハイオク)	(191)	(62)	(▲10.1)
(レギュラー)	(881)	(283)	(▲0.5)
ナフサ	128	42	▲18.7
ジェット	91	30	+7.0
灯油	380	188	▲17.3
軽油	634	215	▲3.3
A重油	517	177	▲10.6
C重油	530	174	▲17.0
(電力C重油)	(266)	(85)	(▲17.4)
(一般C重油)	(264)	(89)	(▲16.6)
内需燃料油計	3,362	1,174	▲8.7
原油	186	64	+24.5
潤滑油・特品	201	70	▲4.5
化学品	285	98	▲0.1
輸出燃料油ほか	982	312	+1.9
ジョイント等除き計	5,016	1,718	▲5.2
ジョイント等	1,495	528	+5.7
総計	6,511	2,246	▲2.9

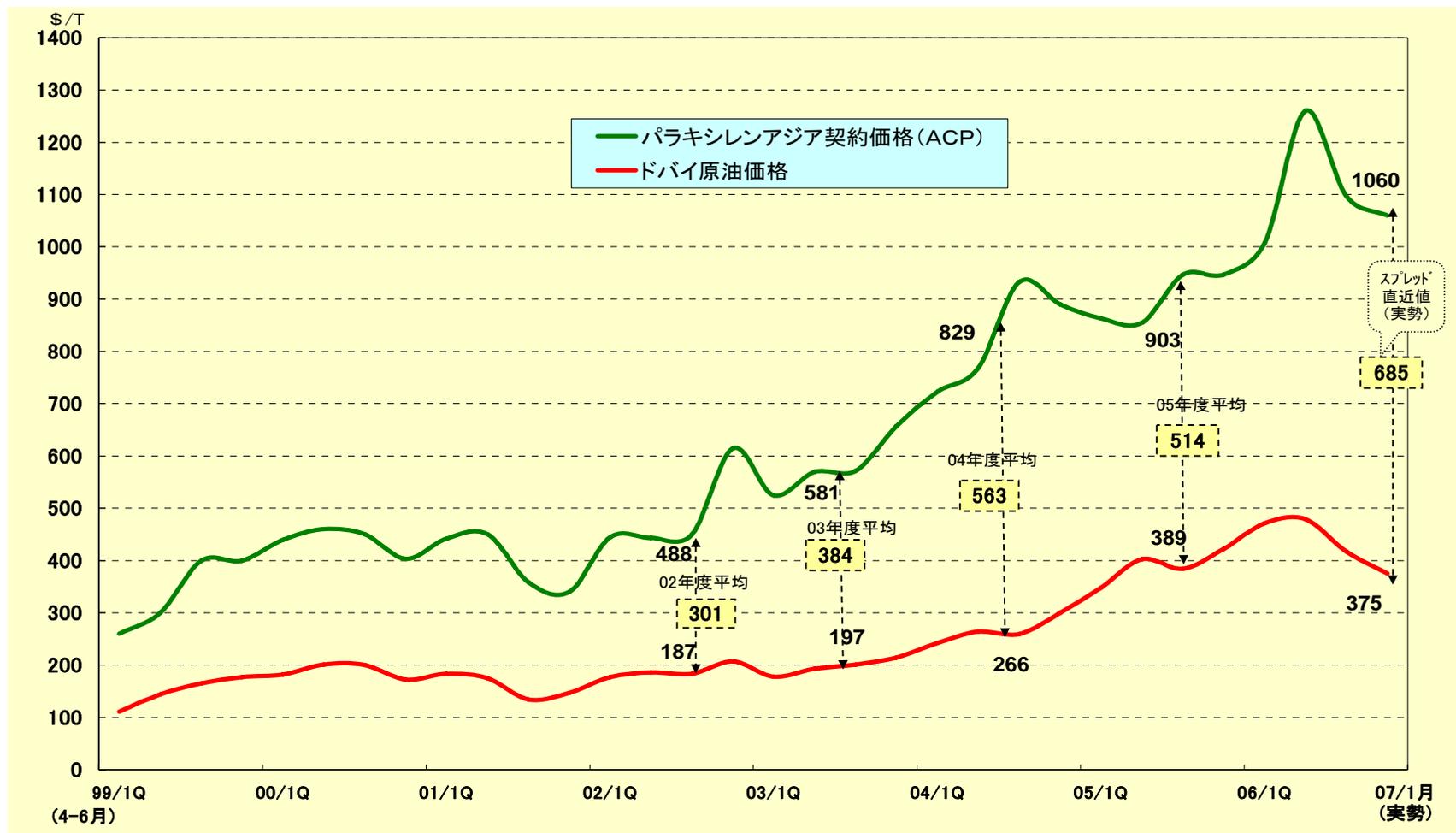
年度見通し	10月発表比
万KL	%
1,413	▲1.4
(249)	(▲2.7)
(1,149)	(▲1.2)
185	▲2.6
123	+1.7
631	▲9.5
839	▲0.4
701	▲5.9
694	+2.2
(345)	(+3.6)
(349)	(+0.9)
4,586	▲2.6
234	+9.3
274	▲1.1
391	▲1.3
1,295	+1.5
6,780	▲1.3
2,050	▲1.0
8,830	▲1.2

# 参考データ③

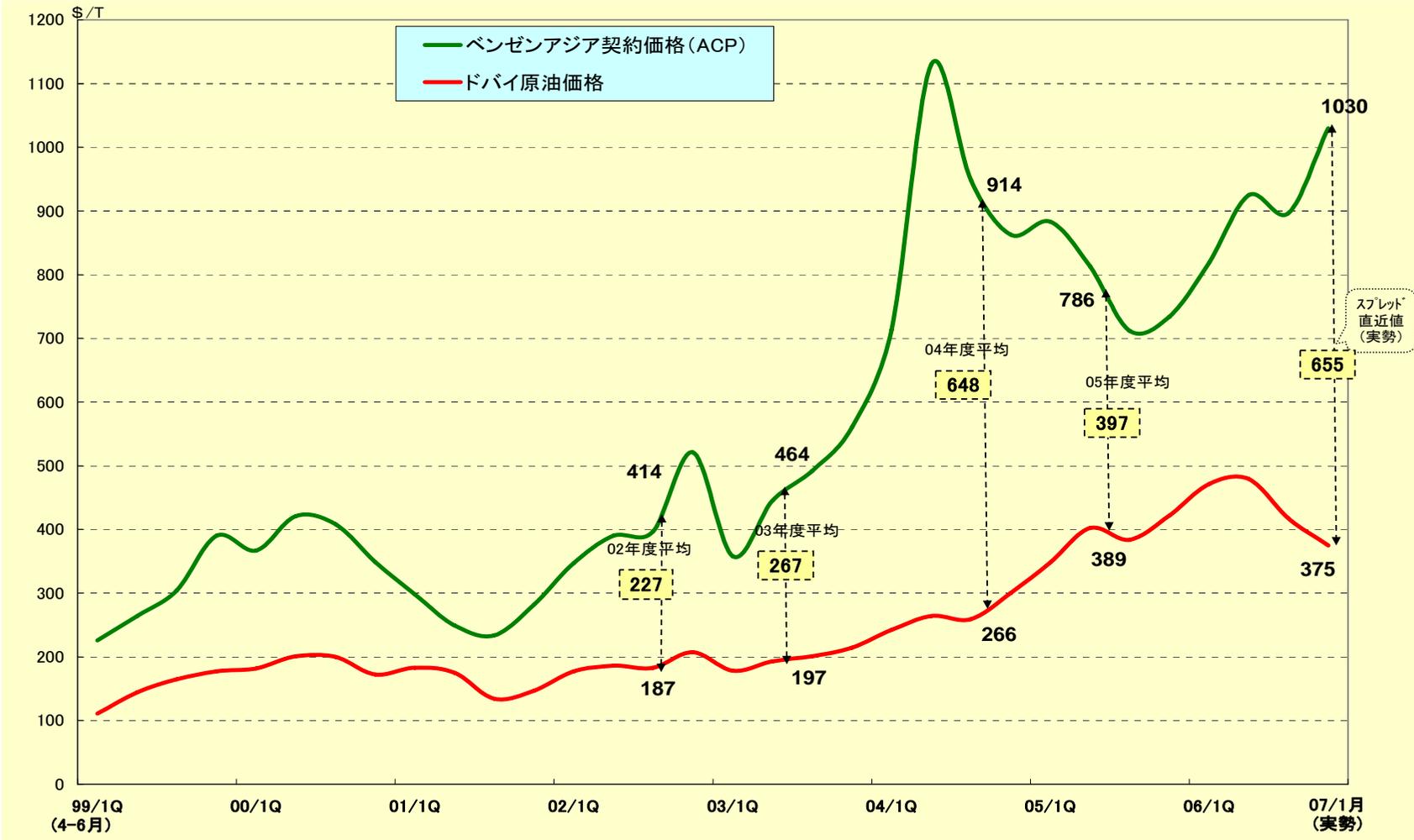
## <スプレッド(ガソリン末端価格－原油CIF)の推移>



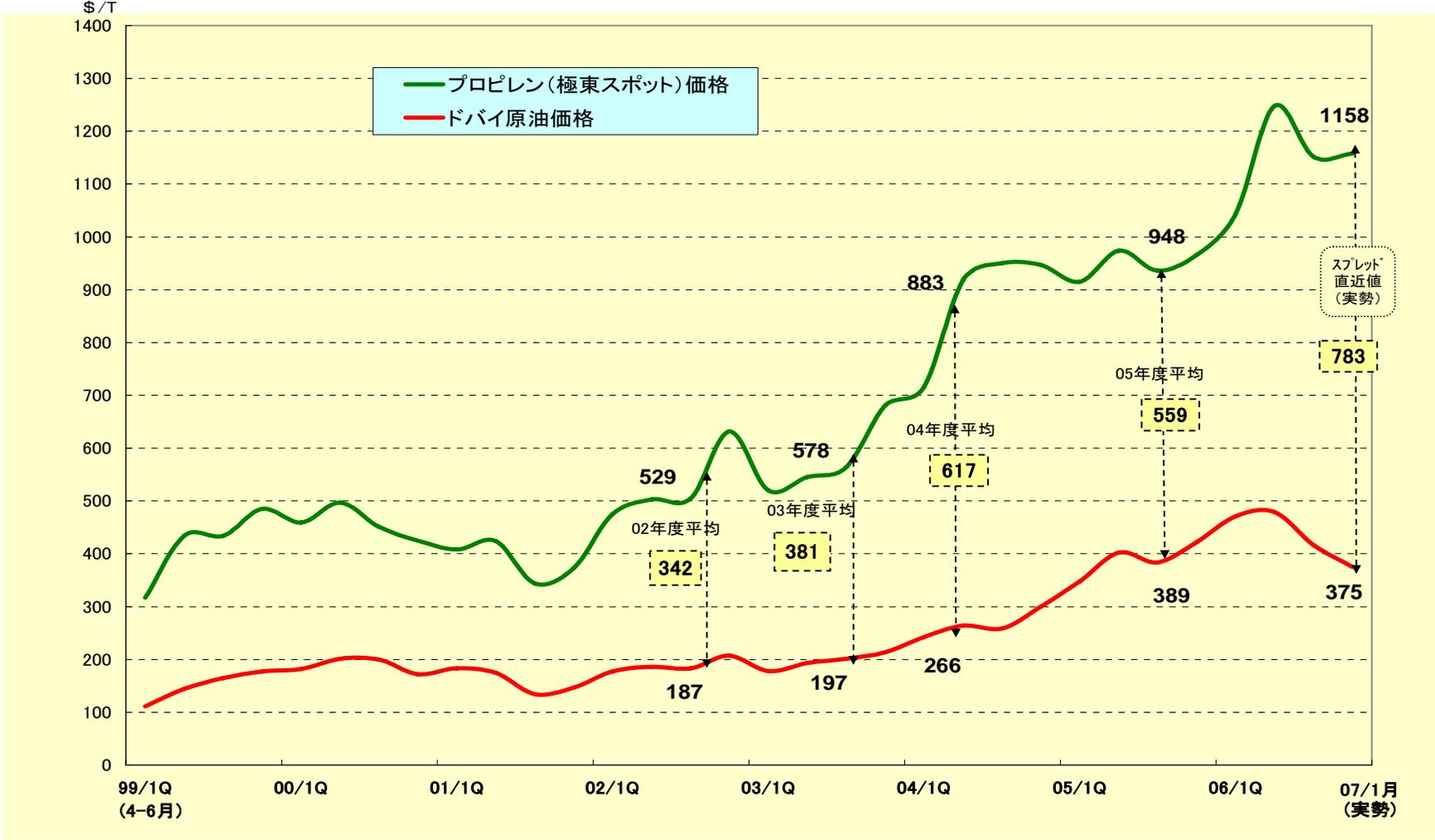
# <スプレッド(パラキシレン価格ードバイ原油価格)の推移>



# <スプレッド(ベンゼン価格-ドバイ原油価格)の推移>



# <スプレッド(プロピレン価格ードバイ原油価格)の推移>



## 参考データ④

### <SS数(固定式)>

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年9月	2006年12月
新日本石油	11,333	11,059	10,807	10,592	10,493
(うち社有)	2,607	2,518	2,436	2,379	2,347

### <セルフSS数>

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年9月	2006年12月
新日本石油	520	651	794	917	1,025
全 国	3,423	3,493	4,257	4,798	5,203

註:元売系列のセルフSSのみ

出所:石油情報センター、燃料油脂新聞

### <Dr. Drive数>

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年9月	2006年12月
新日本石油	1,871	1,963	2,505	2,480	2,435

## 参考データ⑤

### <トッパー稼働率>

単位：%

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度上期	2006年10-12月
新日本石油グループ	83	87	88	83	81

### <油槽所数>

	2004年4月	2005年4月	2006年4月	2006年9月	2006年12月
新日本石油	51	50	50	49	49

### <石油・天然ガス開発生産数量(日量)>

単位：千BD

	2003/1-12平均	2004/1-12平均	2005/1-12平均	2006/1-12平均
新日本石油グループ	66	111	156	153

※プロジェクト会社取り分ベース

## ＜見通しに関する注意事項＞

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。